

オリックスと蓄電所事業へ参入
～電力需給の安定および再生可能エネルギーの導入加速を目指して～

2022年7月14日
関西電力株式会社

当社は、本日、オリックス株式会社と、和歌山県紀の川市で蓄電所事業^{※1}を実施することに合意しました。2024年4月の事業開始を目指し、当社初となる大型蓄電池（定格出力48MW、定格容量113MWh^{※2}）を導入します。

本事業は、大型蓄電池を電力系統に接続し、電力の余剰時には蓄電し、不足時には放電することで、電力需給の安定化や再生可能エネルギーの導入加速に寄与することを目的としています。

国内では、2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、再生可能エネルギーの導入拡大が進む一方で、発電量の変動が大きくなり、変動に対応する調整力の確保が課題となっています。また、電力需要の少ない時間帯には、再生可能エネルギーの出力抑制が発生しており、再生可能エネルギー活用の課題となっています。

本事業では、調整力の供出や再生可能エネルギーの余剰電力の吸収、需給ひっ迫時の放電が可能であり、これらの課題解決につながります。

事業開始以降、需給調整市場^{※3}や日本卸電力取引所^{※4}、容量市場^{※5}等の電力市場での取引を通じ、電力需給の安定、および、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

今後、事業開始に向けて、2022年8月から設置工事を開始します。

- ※1：一般社団法人 環境共創イニシアチブ「令和3年度補正 再生可能エネルギー導入加速化に向けた系統用蓄電池等導入支援事業」に採択
- ※2：1日1サイクルの充放電をした場合、一般家庭の約1.3万世帯の1日の使用量に相当
- ※3：一般送配電事業者が周波数調整や需給調整を行うための調整力（電力）を、市場を通じて、効率的に調達・運用するために2021年4月から開設された市場
- ※4：発電事業者と小売事業者の間の電力売買を行う取引所
- ※5：将来にわたる日本全体の供給力（kW）を効率的に確保する市場

以上

別紙：蓄電所事業の概要

蓄電所事業の概要

＜蓄電所の概要＞

名称：紀の川蓄電所

事業開始：2024年4月予定

設置場所：関西電力送配電株式会社 紀の川変電所構内

定格出力：48MW

定格容量：113MWh

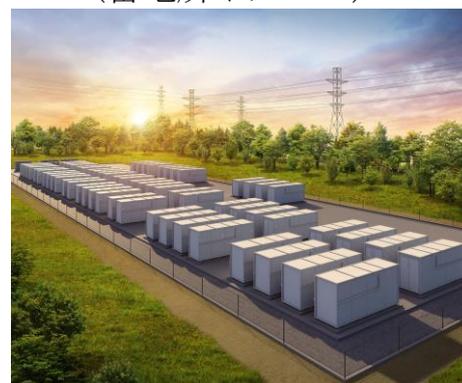
敷地面積：約8,000㎡

電池方式：リチウムイオン電池

(紀の川変電所 俯瞰図)



(蓄電所イメージ)



＜事業体制＞

関西電力株式会社：蓄電池の運用

オリックス株式会社：蓄電池の保守・メンテナンス、アセットマネジメント

紀の川蓄電所合同会社：紀の川蓄電所の運営

＜紀の川蓄電所合同会社＞

| | |
|------|---------------------------------|
| 設立 | 2022年6月1日 |
| 代表者 | 高山 知也 |
| 所在地 | 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号 東京共同会計事務所内 |
| 出資比率 | 関西電力株式会社50%、オリックス株式会社50% |